

令和6年10月号掲載

男女共同参画社会をつくる

「こども霞が関見学デー」実施報告

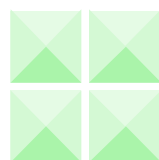
(男女共同参画局ブース)

内閣府は、こどもたちに内閣府の仕事をよりよく理解していただくため、8月7日（水）と8日（木）の2日間、「こども霞が関見学デー」を実施しました。

「こども霞が関見学デー」は、夏休み期間中にこどもたちに広く社会を知ってもらうこと、政府の施策に対する理解を深めてもらうこと、活動参加を通じて親子の触れ合いを深めてもらうことを目的に、文部科学省をはじめ、各府省庁等が参加して実施するイベントです。

内閣府男女共同参画局のブースでは、“求む！未来の理工系女子！”と題して、女子生徒等の理工系進路選択を支援する「理工チャレンジ（以下、「リコチャレ」という。）」の取組を紹介するとともに、プログラミングの体験教室を開催しました。このブースには、2日間で75名のこどもたちに参加いただきました。

「リコチャレ」の取組紹介では、夏休み期間を利用して、企業・大学・学術団体等が実施する理工系女子応援イベントに関する広報事業「夏のリコチャレ2024」のポスターを掲載したり、様々な分野で活躍する理系出身の方々からのメッセージ動画を放映したりしました。



プログラミング体験教室では、リコチャレの趣旨に賛同していただいている団体「リコチャレ応援団体」の株式会社エスワイシステム様ご協力のもと、スマートフォンとパソコンを使用して LINEBOT(ラインボット)のプログラミング体験をしました。

参加したこどもたちは、BOT の仕組みに興味津々で、先生から質問されると元気よく手を挙げて答える様子が印象的でした。

スマートフォンとパソコンを操作する時間は、和気あいあいとした雰囲気でも盛り上がりました。参加したこどもたちは、自分が考えた内容がシステムに反映されているのを確認して、とてもやりがいを感じているようでした。

こどもたちに感想を聞いてみると、「自分が考えたことがスマホに表示されるのは、すごい。もっとやりたい！」や、「授業でもプログラミングやってるし、つまんないかなと最初は思っていたけど、とても楽しかった！」という前向きなコメントをいただきました。

保護者の方からも、「先生がつきっきりで見てくれているので安心した。来年も絶対に予約する。」や、「自分はエンジニアの仕事をしているが、私の仕事を少しでもこどもが感じてくれたら嬉しい。参加してよかった。」という嬉しいお声をいただきました。



こども霞が関見学デー当日の様子①



こども霞が関見学デー当日の様子②



こども霞が関見学デー当日の様子③



「リコチャレ」の取組紹介